

# こんにちは 日本共産党松本市議団です

2006年9月13日発行 第2号 日本共産党松本市議団 9月議会  
松本市井川城1-5-3 0263-27-1122 ファックス 0263-27-1190

議会速報

## 自民公明政権の国民いじめの政治から 市民を守る防波堤としての市政を

9月議会一般質問で12日、日本共産党を代表して池田国昭議員が質問を行ない介護保険等について前向きな答弁・見解が示されました。

### 介護ベッド“取り上げ”に対して 市独自の助成対策を

10月1日から、今まで使っていた介護ベッドを「取り上げないで」と涙を流しての訴えがある。「自立支援型ベッド」等へ市独自に助成する考えは



和田健康福祉部長

#### 介護ベッドへの助成について、所得の低い方を対象に検討する

介護用ベッドは軽度者であっても、立ち上がりが楽になり、自立の意欲が高まり重度化を予防し、また介護者も楽になることから必要性を認めている。所得の低い方を対象に市独自の助成を検討して行く。

### 学童クラブについて

#### これまでの実績後退させないように

見直しを確認され、具体化が進められている放課後児童育成健全育成事業について、今までより後退してしまわないか心配の声が寄せられている。

事業を進めていく上での大原則として、

松本市の学童クラブの関係者と子供たちで培ってきたこれまでの実績、到達点を後退させることなく、現在の問題点・課題を発展的に解消し、子供たちの健全育成、子育て支援策として前進させる新しい取り組みとする。

そのためには、行政主導、上意下達、押し付けでなく、関係者のすべての皆さんの声を十二分に反映し、慎重かつ十分な話し合い積み重ねながら、事業の位置づけの明確化と実施の具体化を図ること。

財政的に困難に見える課題であっても、子供たち、保護者、地域と行政の協働した取り組みの中で、常に問題の解決を図る努力を怠らないこと。

が求められるが今後の進め方は

和田健康福祉部長：

後退させないは、基本的考え方。

学童クラブの素晴らしいことも取り入れて行なう。

#### 適応指導・学習指導改善教員の増員を

「いじめや不登校に関わる児童と触れ合うことにより心のケアをはかり、学級不応や発達障害を有する児童・生徒への支援、児童の学力向上への援助等を目的として」現在小学校に14名(2校に1名)、中学校に3名(今年度から)配置され、問題解決に向けて成果を挙げている。

当面、直ちに中学校でも2校に1名の配置増員が必要ではないか。



教育長：指導改善教員の役割、成果は認めている。

増員については検討していきたい。

市長：教育長答弁とも考え合わせ、早い段階で検討して参りたい。